

ベトナム市場調査報告書

依頼会社株式会社 御中

2018年1月6日

※依頼を受けた日本企業向けに提出した報告書からの抜粋



レップ・グローバルネットワーク株式会社

はじめに**依頼会社株式会社 御中**

この度実施させていただきましたベトナムの市場調査に関しまして、以下の通り報告書を作成いたしましたので、ご査収願います。

概要

ベトナムは 9000 万人以上の人口と共に経済発展して行く中であらゆる分野にインフラ整備をせざるを得ない状況に置かれています。その中 IT インフラ整備は現代経済にとって非常に重要になって来ています。現在、多くの外国 IT 企業とその他、地元の IT 企業も既に活動をしている現状で、貴社もこれらの企業の仲間入りをしなくてはなりません。

この報告書は貴社に関連 IT 市場を調査し、電子データを如何に安全に保管、配布、管理することが出来る統合コンピュータシステムの構築や導入をどの分野で最も的確に提供出来るかを市場調査しました。この調査はインターネット、ニュースメディア、図書館や地元のベトナム人の方々との話を通じて慎重に行いました。報告書の主な目的は市場を開発する方法を理解し、私たちはそれによってビジネスモデルを創造し、戦略を議論することが出来ます。

TABLE OF
CONTENTS

1. 背景	Page 4
2. ベトナムの各地域状況	Page 4
2.1 Ho Chi Minh	Page 6
2.2 Ha Noi	Page 6
2.3 Da Nang	Page 7
2.4 Can Tho	Page 7
2.5 その他の地域	Page 7
3. 市場部門	Page 8
3.1 ヘルスケア	Page 8
3.2 政府	Page 9
3.3 教育	Page 10
3.4 ファイナンス&サービス	Page 10
3.5 製造業	Page 11
3.6 小売業	Page 13
3.7 レストラン業	Page 13
4. コンタクトターゲット	Page 14
4.1 エンドユーザー (病院)	Page 14
4.2 Technology パートナー	Page 16
4.3 ソフトウェアのローカリゼーションとカスタマイズパートナー	Page 17
4.4 ジョイントベンチャー企業パートナー	Page 18
5. 結論	Page 19
6. 推薦	Page 19

1. 背景

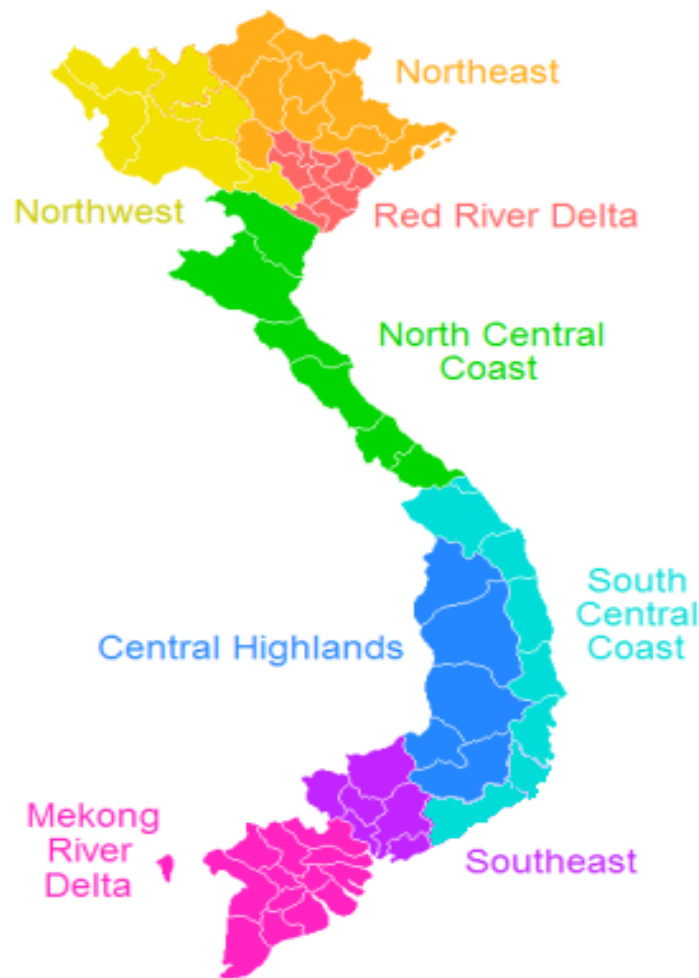
ベトナムは過去 10 年間で平均 6.5% の GDP 成長率で東南アジア諸国の中最も高い経済成長の市場となっています。また、地理的位置優理、安全、安定した政治環境 若い優秀な労働人口を持ち、隣の国々と比べて多くの利点を持っている。そのため、多くの国際的なハイテク企業を誘致することが出来、これらの企業はもう既にベトナムでオフィスを確立している。

情報技術産業は今後 10 年間で毎年 20 から 25 パーセントの成長が見込まれている。彼らはベトナムが東南アジアの次のシリコンバレーになることを期待している。ベトナム政府も市場の発展を助けるために大規模な計画を建て、勢いに実現しようとしている。ベトナムでは、ハイテク施設が続々と建設され、ホーチミン市にはサイゴンハイテクパーク、クアンチュンソフトウェア市そして 2016 年 5 月から動作を開始した「サイゴンシリコン・シティ」、ダナンにはダナンハイテクパーク、ハノイ市には 2016 年現在今までベトナムで最初しかも最大規模のホアラックハイテクパークを建設されており、2030 年までに国家防衛技術や宇宙セクターなどそこで建設する予定です。慎重に市場に参入した任意の会社が良いシェアを獲得することが出来る。

本調査で用いた主な方法は、可能な限り正確な情報を確保するために、英語、日本語またはベトナム語で異なるキーワードで Google 検索したものです。他の方法は、ベトナムニュースペーパーに載る記事、ライブラリでいくつかの本から拾った話、またベトナムのビジネスの人々にインタビューするなどです。最も有力な情報は、直接ベトナムの IT 企業に接触したことによって収集されたものである。

2. ベトナムの各地域
状況

ベトナムの領土は8領域に分割されています:北西、北東、紅河デルタ、北中部、南中部、中央ハイランド、東南部およびメコン川デルタ。ベトナム政府は、58州と5都市ごとの地方政府を管轄しています。人口は、人々が海から食料を確保するため海岸線に沿って集まり、特に紅河デルタ、南中部、東南部およびメコン川デルタの周りに集中しています。地理的に北と中心領域のほとんどは、山脈の多く占めています。経済は紅河デルタとホーチミン市（旧名称サイゴン）とハノイ市の周りの領域とを分割して発展しました。カントー市はメコン川デルタの真ん中に位置しているため、もともとかなり大きな経済力を持つ都市です。またダナン市は、1983年の経済政策以後、最も急成長している都市である。



ベトナムの年統計の本によると、ホーチミン市、ハノイ、カントーとダナンは、2015年にはそれぞれベトナム全体のGDPの20.23パーセント、11.19パーセント、2.53パーセントと1.54パーセントで、トータルベトナム全体のGDPの35.42パーセントに貢献し、現在の高速化、都市化に伴い今後数年間でより高速に成長することが期待出来る。またベトナムの年の本によると、ホーチミン市、ハノイ、カントーとダナンに運営する企業数はそれぞれ全国の数33%、24%、3%、2%で現在のベトナムで運営している企業の総数の62%まで足しています。今後5年間でさらにこの数は益々増

加する一方です。この事実に基づいてベトナムに進出企業はこれら4都市に集中し活動を取り組むべきです。

2.1 Ho Chi Minh City

ホーチミン市は約800万人の人口で、2016年度ベトナムGDPの4分の1近い経済力を持ち、ベトナム最大の都市である。またこの経済大都市パワーハウスは近い将来東南アジアの主要な技術のハブになることが期待出来る。多くの国際ハイテク企業はすでにここにオフィスを移動している。これらの企業の中でも、コミュニケーション、建物、エンジニアリングおよび建設の分野で多くの企業があります。急速な成長の中で、ホーチミン市には需要を満たすために迅速にインフラを導入する選択しかありません。そこでITインフラ設備は、現代の経済基盤の最も重要な要素になります。さらに重要なのはホーチミン市にはあらゆる種類の情報を容易に得ることができるアクションの都市です：パソコンで指先一本又はわずか数分のモーターバイクで、市場、顧客、パートナーや競合他社に関する情報さえ得ることが出来る。あるハイテク企業は、ベトナム市場への参入する意思が有れば、先ずここに事務所を置くことを考える。

2.2 Ha Noi

ハノイはベトナムの首都で、人口と経済の両面ともホーチミンの次のベトナムで2番目大きな都市です。ハノイは現在、人口の約700万人を有しており、ベトナム国内総生産(GDP)の12%近くを占めます。しかし、ハノイとホーチミン市間の主な違いは、これら2つの都市が履歴に開発されてきたの違いです：ハノイ市は政治力によって開発されてきたのに対して、ホーチミン市は商売的に駆動されて来た。ハノイは常に政治の中心地となっていたのに対して、ホーチミンはその地理的位置と自然資源に起因する力を囲みます。1998年以来、ベトナム中央政府は、ハノイがベトナムの首都に相応しい都市である為、積極的にハノイ周辺の工業地帯を設定するの推進し、その首都を持っている多くのアジア諸国のような国にハノイを政治と商業の両方を駆動しようとしています。ノイバイ国際空港やハイフォン海港への輸送のために便利な場所に位置している国で最初かつ最大のホアラックハイテクパークを建設し、このハイテクパークに重工業技術とエアロスペースセンターのような巨大な計画を2030年までに構築する予定です。それでも中央政府によって行われた努力にもかかわらず、国際ハイテクコミュニティは、投資先としてのホーチミンを選択することを好むようです。トゥオイチエーNewspaperによると、2014年以来ほぼすべての主要な新国際ハイテク企業はホアラックハイテクパークにはいずれもが参加していない状況です。それに対して2014年以来、サムスン、インテルのようないくつかの巨大企業はサイゴンハイテクパークで、大容量の工場をオープンすることを決定し、もう既に運営しています。ホーチミン市はまた、需要に追いつくために2020年に完成する予定第二サイゴンハイテクパークを構築するための新しいプロジェクトを開始しました。いずれにしてもハノイは、これからベ

トナム市場に参入する外国企業にとって第二の重要な市場です。

2.3 Da Nang

ダナンは、ベトナムで最も急成長を遂げている都市であると考えられます。特に 1996 年に政府はダナンをクアンナム省から分離させ、中央政府の直接の管理下になった後のときです。その政府の決断は、道路、鉄道、海、空にすべての輸送のための国家安全保障としてのダナンの国家防衛戦略的な位置に基づいているからです。それによって人口が急激に増加しました。多くの国内および国際的な企業がダナンに殺到している為、人口や雇用の急激な増加を引き起こしたがダナンはまだ 5 都市の中で最も小さい都市です (ホーチミン、ハノイ、ハイフォン、カントーそれからダナン)。ダナンの人口は 2015 年末までに 100 万人に達し、今後数年間でさらに増加すると予想しています。国の第三ダナンハイテクパークも、この高い期待の結果として建設され、ベトナム中部と西部ハイランドエリアをサポートできるように期待されています。

2.4 Can Tho

カントーは元々メコン川デルタ地域ど真ん中の位置にある為、常に歴史を通じて最も西ベトナム南部の主要都市となっています。産業、文化、サービス、教育としての役割の重要性を認識することで、中央政府は、2003 年 11 月 11 日以来ハウザン省に属していたサブ州カントーをカントー市を改名し、中央政府の直接の管理下になったことを決定しました。2016 年現在、140 万人の人口を持ち、ベトナム国内総生産 (GDP) の 2%以上を占めており、ダナンよりも大きな経済規模を持っています。しかしダナンと比べて国際ハイテク投資の名所として成長していない状況です。それにもかかわらず、政府は、長期的に全国の経済ネットワークのバランスをとることを期待してその発展を注視しています。

2.5 その他の地域

その他の地域の中で最も重要な都市は 200 万人以上の人口を持つハイフォン市です。ハイフォン市は、国の北部領土のための主要産業と国家安全保障対策で最も重要な港湾都市です。ハイフォンは現在、ホーチミンとハノイの次に人口の多い都市で、中央政府の直接の管理下にもありながら、ベトナム経済人はハイフォン市を重要な都市と考えておらず、その他の地域に入れていきます。主な原因はハイフォンが経済成長する可能性を持っていないことです。他の地域はハイフォン以外にまだ 58 の州があります。この 58 州は農村地帯も多く、人口も少ない地域が殆どです。19 世紀に工業化を逃した多くのアジア発展途上国と同様に、ベトナムも主要都市とその他の地域との間の不均衡経済となってしまう可能性があり、その為ベトナム政府は常にその他の地域に援助し、経済に刺激を与え、発展を促そうとしています。